

## 交通政策審議会航空分科会第9回技術・安全部会 議事概要

日時：平成29年8月2日（水）16：00～18：00

場所：中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室

議事概要：

### <議事（1）「航空に係る技術的な規制の見直しについて」に対する主なご意見・ご指摘>

○LCCの要望がどの程度のウェイトを占めていて、これらの要望が今回の見直しにどのような影響を及ぼしたのか把握すべき。

○外国航空会社からの旅客便ウェットリースの実施に向けては、安全面についてもしっかり検討していただきたい。

○空港内の車両運転許可手続きの見直しについては、既に制度改正がなされているようだが、現場がまだ対応していないのではないか。

○技術規制の見直し要望を受けるだけでなく、航空局内部でも自発的に見直していくべきではないか。

### <議事（2）「国の安全指標等の見直しの進め方について」に対する主なご意見・ご指摘>

意見なし

### <議事（3）「航空安全行政の今後の取組について」に対する主なご意見・ご指摘>

○航空機の燃費（CO2排出量）は、航空機自体によるものだけでなく空中待機や低高度での飛行等の管制による影響も受けるのではないか。

○航空機の異常姿勢を防止等するための訓練（UPRT：Upset Prevention and Recovery Training）において、状況認識の教育が重要ではないか。

○飛行中の制御喪失（LOC-I：Loss of Control-In Flight）に至る前のヒヤリハット情報をビッグデータとして分析することにより、安全な機体の設計に活

用できるのではないか。

○航空機の異常姿勢を防止等するための訓練（UPRT: Upset Prevention and Recovery Training）をシミュレーターで実施する場合に、シミュレーターに入力する失速時の挙動等の実機データがメーカーから得られるよう、国がフォローしていただきたい。

#### <議事（４）「小型航空機の安全確保について」に対する主なご意見・ご指摘>

○事故の原因究明を可能とするような装置の装備を義務付けたり、このような装置の装備に対して補助したりすること等により、事故の原因究明をしっかりと行うべき。

○小型航空機の事故はパイロットの知識不足によるところが大きいと考えられるので、事故等の都度パンフレット等を配布するだけでなく、事故事例等をまとめたものを年に１回程度配布することを検討してはどうか。

○調布の事案のみならず、八尾の事案も重心・重量オーバーが原因とされているので、是非対策を講じるべき。

#### <議事（５）「無人航空機の安全確保について」に対する主なご意見・ご指摘>

○最近、無人機の利便性や産業としての明るい見通しばかりを強調した報道等を目にするが、安全対策もしっかりと行っていることもアピールすべきではないか。

○空港周辺の安全対策として紹介のあったジオ・フェンスの活用について、しっかり進めて頂きたい。